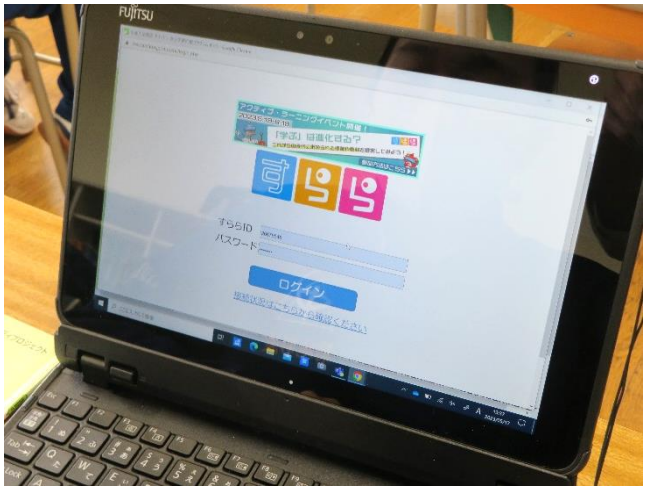
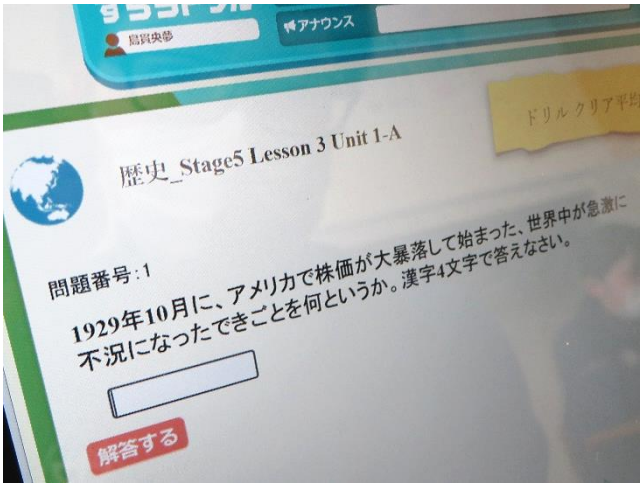
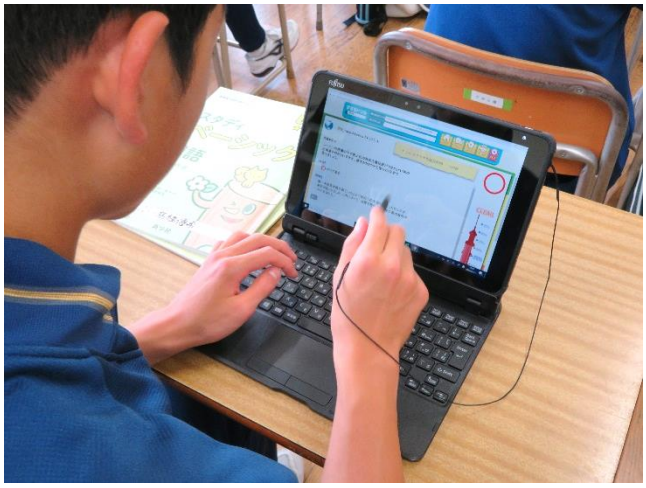
５／１７　校長室より №220

　今年度、本校では「すららタイム」と称して、毎週水曜日の終わりの会で、全校生が「すららドリル」に取り組む時間を設定しています。「すららドリル」とは、生徒一人ひとりが自分の学力に応じた演習問題に取り組める AI 型のドリル教材です(町内全小中学校で、週１回時間を設けて取り組んでいます)。

　生徒諸君は、各自のタブレットに向かい、自分の関心、理解度や進度に応じて問題を選び解き進めていました。水曜日の午後は時間に余裕があります。学校でやった問題の続きや難しい問題に挑戦するなど、家庭でどんどん進んでかまいません。いわゆる「個別最適な学び」を求め、有効に活用していきたいと思います。